

芝久保小学校 研究だより

令和7年10月29日(水) No.2 西東京市立芝久保小学校 研究主任

国語科 読むこと分科会

《書くこと分科会 目指す児童像》

- 【低学年】 既習事項を活かし、読もうとする児童
- 【中学年】 既習事項を活かし、根拠をもって考える児童
- 【高学年】 既習事項を活かし、よりよい考えを目指す児童

【協働的な学びの充実】

本文を付けた写真を用意し、実際に自分たちで例を並び替えながら筆者が工夫した意図を考えさせました。また、4～5人のグループ活動を取り入れ、自分一人の視点だけでなく多様な視点に触れながら、自分の考えを深められるようにしました。



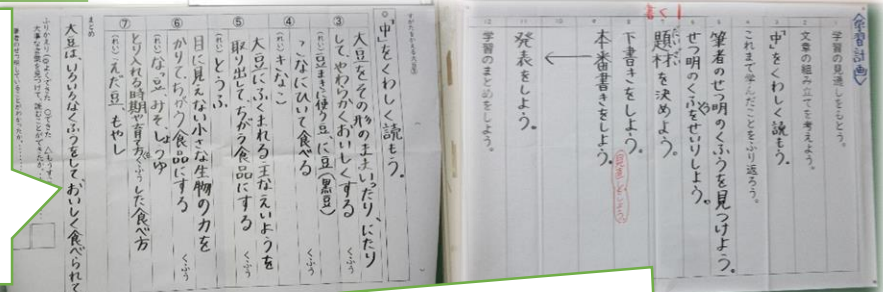
【協働的な学びの充実】

普段の学習でも、積極的に活用しているグループ活動。一人一人が自分の考えに対して自信をもてるように……友達と積極的に考えを共有する姿がたくさん見られました。



【学習過程・課題設定の工夫】

前単元「こまを楽しむ」では、中心となる文を捉え、文章全体の組み立てを考える学習を行ってきました。キーワードを本文中から書き抜くワークシートを使い、本文中の説明に注目させながら学習を進めていきました。



【学習過程・課題設定の工夫】

本単元後半の「食べ物のひみつを教えます」では、児童一人一人が食材を選び、「すがたをかえる〇〇」を作成します。『わかりやすい文章にするために、筆者がしている説明の仕方の工夫を見つけよう』という学習課題を設定し、自分たちが書くときに、読む人がわかりやすい文章にするには、どのような点を工夫すればよいのかを学習できるようにしました。



研究授業後に行った研究協議会では、グループ活動の意図や授業者が目指していた「考えを深める児童の具体的な姿」について活発な話し合いが行われました。校内研究では、「研究主題に迫るための手立てが有効だったか」について検討を重ねます。では、その評価はどこでするのか……それは、授業を受けていた子どもたちの姿やその後の姿(変容)です。この単元・本時の授業を通して子どもたちがどう成長していったのか——そのことについても活発に議論しました。

「筆者がこの順番で説明している理由は…」

「ちょっと待って!もしかしたら二段落に書いてある文章が…」

「もう一回教科書を読んでみようよ!」

友達と協力し合いながら、一生懸命考えを深めようとする姿がたくさん見られました。

4月にクラス替えをし、少し大人になった子どもたち。休み時間になると、水野先生の周りに子どもたちが集まり、楽しそうに遊んでいる姿もたくさん見られました。この授業中もそうです。水野先生の言葉に耳を傾け、一生懸命考える子どもたち——研究を通して、教員も子どもたちも成長できるように、引き続き、充実した校内研究を目指していきます。